

住んでみたい四絡  
住んでよかった四絡

# 広報 よつがね

令和8年  
1月号



四絡コミュニティセンター

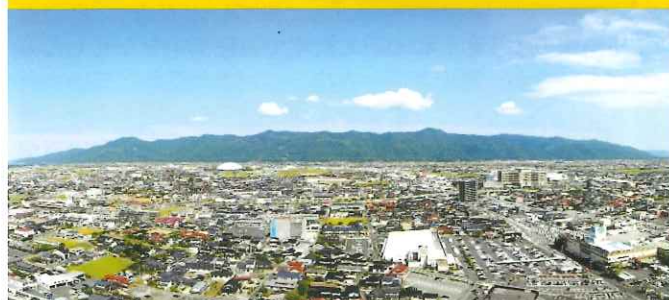
出雲市小山町650-21 TEL21-0369 FAX21-0370

E-mail:yotsugane-cc@local.city.izumo.shimane.jp

ホームページ公開中

四絡コミセン

検索



四絡の人口（令和7年11月末）

| 地区名 | 矢野            | 小山            | 大塚             | 姫原             | 渡橋            | 合計             |
|-----|---------------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 世帯数 | 700<br>(+1)   | 2,105<br>(+4) | 608<br>(-4)    | 826<br>(-7)    | 1,702<br>(+7) | 5,941<br>(+1)  |
| 人口計 | 1,702<br>(+6) | 4,483<br>(+2) | 1,379<br>(-10) | 1,897<br>(-12) | 3,285<br>(+5) | 12,746<br>(-9) |

※（ ）の数字は前月比 資料 出雲市

12月コミセン利用数 183件・総利用者数 3,740名

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。昨年も四絡コミュニティセンターをご活用いただき、また運営及び事業に対しましてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さてコミュニティセンターって何をしているの？と聞かれることがありますが、答えるのが難しいくらい色々な仕事をしています。四絡コミュニティセンターは、年間利用者が5万人を超える市内で最も利用の多い施設です。ただ、施設の貸出しや利用に関することは私たちの仕事の一部です。主な仕事は、自治協会や災害対策、社会福祉に関すること、広報活動、道路や河川、交通安全、環境保全、健康と福祉、子育て支援、スポーツや文化振興、生きがい作りや生涯学習振興、文化財の保護、また高齢者や障がいのある方の支援に関すること、登下校の安全、放課後等の居場所づくり、学校・家庭・地域の連携に関すること、人権教育の推進など、各種団体の事務局として、あるいは各種団体や行政機関と連携しながら地域の問題解決のために様々な業務を行っています。幼稚園や小中学校へ出かけることも多く、授業や教材作成のお手伝いをすることもあります。また地域住民の方からの困りごとや要望を行政機関へ届けるという仕事もしています。

こうした仕事をする中、私たちが最も大切にしていることは、公民館の時代から引き継がれてきた「地域課題の解決」に向けた「学習プログラムの企画」です。話し合いの計画を立てたり、講師を探したり、資料を作成したりしながら、学ぶ場の提供に努めています。そうした仕事はコミュニティセンターの9つの専門部を通して、誰でも参加したくなるような、そして身近で親しみやすい研修となるよう形を変えながら、一人でも多くの方に関心を持っていただけるよう工夫をしています。広報配達で、各家庭に届けられるイベント案内やチラシもそうした活動のひとつです。

今年は、公民館からコミュニティセンターへと名前が変わって23年目になります。戦後、地域の復興を「学ぶこと」を通して支えてきた「公民館活動の原点」を大切にしながら、「地域を元気にする」というコミュニティセンターの役割を自覚し、「地域の課題は地域で解決する」という「気概」を持って、これからも皆さまから頼りにされるコミュニティセンターを目指していきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和8年1月

四絡コミュニティセンター 〈センター長〉安達清志・職員一同



令和8年の四絡地区新年賀会は、晴れの門出を祝う相撲甚句で始まりしました。自治協会役員、コミセン運営委員・事業委員、そして教育関係者が集い、これからの四絡について大いに語り合う場となりました。地域の皆さまのあたたかいご支援・ご協力をいただき、今年も一年みんなで力を合わせて邁進いたします。